

## 5. 診 療

### 1) 病院概況

- (1) 本 院 (院 長：丸毛啓史  
副 院 長：谷 諭、井田博幸、浅野晃司、小島博己、安保雅博、小澤かおり  
事務部長：横山秀彦)
- (1) 患者数
- ① 外来1日平均患者数：2,747名（対前年度比－37名）
  - ② 入院1日平均患者数：866名（対前年度比－10名）
- (2) 病床利用状況  
平成28年度の病床利用率は稼働床1,050床に対して82.5%（昨年比－0.9P）、平均在院日数は、12.4日（昨年比－0.1日）であった。
- (3) 患者紹介率・患者逆紹介率  
平成28年度の紹介率は年間平均で医療法71.8%（昨年比＋0.1P）、保険法71.9%（昨年比±0P）であった。  
平成28年度の逆紹介率は年間平均で医療法51.5%（昨年比－1.2P）、保険法52.2%（昨年比－1.3P）であった。
- (4) 臨床研修
- ① 平成28年度初期臨床研修採用者は、医科43名（内訳：本学卒10名、他学卒33名）、歯科3名の計46名であった。
- (5) 行政監査・指導・検査
- ① 医療法第25条第1項による立入検査（東京都）（平成29年2月28日）
  - ② 医療法第25条第3項による特定機能病院立入検査（関東信越厚生局）（平成29年2月28日）
  - ③ 精神病院等実地指導（東京都）（平成29年2月28日）
- (6) 先進医療  
新規申請・承認（申請1件、承認1件）
- ① 十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテーラーメイドのがんワクチン療法（泌尿器科）承認【先進医療B】
- (7) 臨床研究、保険適用外診療（平成28年度審査状況）  
承認件数：新規申請150件、変更申請（期間延長など）126件
- (8) 病院改修について
- ・中央棟21階リニューアル（平成28年12月26日）
  - ・中央棟20階リニューアル（平成29年2月6日）
  - ・中央棟2階3 Tesla MRI新装置更新（平成29年2月12日）
  - ・ハイブリット手術室（中央棟手術室5室）更新（平成29年2月8日）
- (9) 地域がん診療連携拠点病院について（腫瘍センター事務局）  
腫瘍センター事務局として地域がん診療連携拠点病院の指定要件整備と機能強化を推進した。緩和ケア外来診療可能日の追加、「生活のしやすさに関する質問票」を用いた苦痛のスクリーニング実施増加等、内外部の対象患者への対応について更なる改善が施された。その他、院内がん登録3,436件、がん相談741件、がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会3回開催、市民公開講座2回開催、職員向けのがん就労支援院内研修会1回開催、腫瘍センターサロン交流会（がん患者とその家族の語らいの場（含むミニ講座））19回開催の実績を残した。5大がん＋前立腺がんのクリティカルパスの運用実績は76件であった。
- (10) 「東京慈恵会医科大学附属病院年報」の発刊について  
平成27年度版を平成28年10月に発刊した。配布部数約1,000部。（配布先：学内各部署、名誉教授、客員教授、学術連絡員、同窓会支部長、本学協力病院・関連病院、連携病院、全国医学部附属病院等）

(11) 院内感染対策

① 病棟ICT活動の深化

病棟ICT活動3年目の取り組みとなり、各病棟とICTによる年2回以上のミーティングを継続開催した。病棟ICT目標達成率は手指衛生:88.9%、医療関連感染:46.6%であった。その結果、下記の通りデータ改善が認められた。

- ・手指衛生指数:22.50(前年度比34.34%増)
- ・MRSA院内(不明含む)獲得率:0.17(前年度比32%減)
- ・MRSA菌血症:9件(前年度比2件減)

② 教職員への教育の強化

感染対策ベーシックレクチャーVer.7を計20回開催し、2,867名の出席があった。その他複数の教育を実施し、年間119回のべ受講者数8,075名であった。

③ 職業感染対策

針刺し・切創事例43件(前年度比19件減)、皮膚・粘膜汚染事例19件(前年度比2件減)であった。医師の事例は微増しているが、看護師の事例が前年度より21件減少しており、大幅な減少に繋がった。

④ ファシリティマネジメントの推進

耐性菌対策強化として、下記対策を実施した。

- ・UVC(環境紫外線照射器)の導入
- ・2病棟看護室手洗い場(4箇所)の手洗いシンクの変更
- ・清掃業者へ効果的な手洗いシンク清掃方法の再指導

⑤ 4病院感染対策の向上

4病院ICT会議を隔月実施し、各病院の問題点や事例の共有を図った。また、昨年度同様サイトビジットを継続実施した。

⑥ 私立医科大学感染対策協議会事務局・推進会議事務局としての責務を果たす。

総会、運営委員会、各専門職部会等の運営について中心となり活動を行った。

⑦ 感染防止対策加算病院との連携、支援

感染防止対策加算II病院と年4回のカンファレンスを開催するとともに、感染防止対策加算I病院(福岡大学病院、東京済生会中央病院、東急病院)と相互ラウンドを実施した。

(12) 保険関係承認・届出関係

- ① 医師事務作業補助体制加算1(100対1) (平成28年4月1日) ※新規届出
- ② 精神疾患診療体制加算 (平成28年4月1日) ※新規届出
- ③ 地域連携診療計画加算 (平成28年4月1日) ※新規届出
- ④ リンパ浮腫複合的治療料 (平成28年4月1日) ※新規届出
- ⑤ 児童思春期精神科専門管理加算 (平成28年4月1日) ※新規届出
- ⑥ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算 (平成28年4月1日) ※新規届出
- ⑦ 乳腺悪性腫瘍手術(乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)) (平成28年4月1日) ※新規届出
- ⑧ 肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る) (平成28年4月1日) ※新規届出
- ⑨ 胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る) (平成28年4月1日) ※新規届出
- ⑩ 腹腔鏡下仙骨脛固定術 (平成28年4月1日) ※新規届出
- ⑪ 画像誘導密封小線源治療加算 (平成28年4月1日) ※新規届出
- ⑫ 精神リエゾンチーム加算 (平成28年6月1日) ※新規届出
- ⑬ 骨髄移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)) (平成28年6月1日) ※新規届出
- ⑭ 認知症ケア加算1 (平成28年7月1日) ※新規届出

- ⑮ 急性期看護補助体制加算25対1 (平成28年8月1日) ※変更届出(50対1から変更)
  - ⑯ 医師事務作業補助体制加算1(75対1)  
(平成28年9月1日) ※変更届出(100対1から変更)
  - ⑰ 特定機能病院一般病棟7対1(平成28年10月1日) ※変更届出(看護単位取り纏めRI・6Hと7H、20Hと21Hの取り纏め)
  - ⑱ 看護職員夜間配置加算 (平成28年10月1日) ※結果取り下げ
  - ⑲ 急性期看護補助体制加算50対1 (平成28年10月1日) ※変更届出(25対1から変更)
  - ⑳ 腹腔鏡下肝切除術(1区域切除(外側区域切除を除く。)、2区域切除、3区域切除以上のもの) (平成28年12月1日) ※新規届出
  - ㉑ 特別の療養環境の提供の実施(変更)報告書※21H病棟リニューアルに伴う室料差額変更による変更 (平成29年1月6日)
  - ㉒ 特別の療養環境の提供の実施(変更)報告書※20H病棟リニューアルに伴う室料差額変更による変更 (平成29年2月9日)
  - ㉓ 遺伝学的検査・遺伝カウンセリング加算 (平成29年3月1日) ※新規届出
- (13) 患者支援・医療連携センター
- ① 診療のご案内2016を発行した。 (平成28年6月)
  - ② 患者支援・医療連携センターだより「つなぐ つながる」を発行した。  
No.12(平成28年6月)、No.13(平成29年1月)
  - ③ 同窓開業医マップのバージョンアップを図った。 (平成28年6月)
  - ④ 区中央部糖尿病医療連携検討会の事務局を患者支援・医療連携センターが担当した。  
・総会、作業部会(3回)、市民公開講座、医療従事者対象研修会を開催した。  
市民向け広報紙を発行した。 (平成28年6月～平成29年2月)
  - ⑤ 「働く人の健康支援研究会」を開催した。  
第5回 (平成28年9月、参加者130人)  
第6回 (平成29年3月、参加者302人)
  - ⑥ 教職員向け医療連携フォーラムを開催した。  
第1回 (平成29年1月、参加者150人)  
第2回 (平成29年2月、参加者130人)  
第3回 (平成29年3月、参加者120人)
  - ⑦ 「地域連携オープン講座」を4回開催した。(第7回～第10回)  
第7回「最新の褥瘡ケアについて」 (平成28年7月、参加者15人)  
第8回「最新の内科的肺癌治療と肺癌患者の在宅療養について」  
(平成28年9月、参加者18人)  
第9回「透折看護に関する知識の拡大と看護の実際」 (平成28年9月、参加者32人)  
第10回「がん末期患者の最新の栄養管理について」 (平成28年11月、参加者17人)
  - ⑧ 第4回看護スキルアップ講座「最新のストーマケア」を開催した。  
(平成28年10月、参加者23人)
  - ⑨ 子ども虐待対応チーム(CAPS)主催研修会を開催した。  
「医療機関における虐待対応の意義とは」 (平成28年12月、参加者42人)
  - ⑩ 「認知症看護の知識の拡大」とする研修会を開催した。 (平成29年1月、参加者11人)
  - ⑪ 経管栄養法の研修会を開催した。 (平成28年7月、12月)
- (14) 治験センター
- ① 治験の実施:前年度からの継続45件、新規承認29件(前年比+10件)、終了20件(-4件)であった。うち、医師主導治験は3件で過去最多となった。
  - ② 臨床試験への実施支援:4件  
臨床試験におけるCRC(Clinical Research Coordinator:臨床研究コーディネーター)の支援内容は、治験と同じく被験者対応、スケジュール管理や、データ収集と文書管理

等であった。

③ 臨床研究支援センターおよび倫理委員会事務局との連携

倫理委員会事務局業務等の支援を目的に、CRCおよび治験事務局スタッフが臨床研究支援センターと連携して、倫理委員会事務局業務に協力。治験および臨床試験の現状や両センターの役割拡大、協働について常に情報交換し支援体制を構築した。

④ 臨床試験に対するモニタリング実施体制の構築

臨床試験の実施支援とは別に、CRCがモニタリング担当者としてその業務を行うとともに、各試験のモニタリング担当者に対し、モニタリング計画の相談や指導、実施確認等を行い支援した。

- ・モニタリングの実施：4試験
- ・モニタリング計画の相談、確認業務等：16試験

(15) 診療体制の整備

① 文書カウンターにおける代行登録の実施

医師事務作業の軽減の一環として、平成23年5月18日外来棟1階外来会計内に設置して、診断書の代行登録を実施している。平成28年度は、生命保険診断書の84.8%を代行登録した。

② 病院救急車輛の運用

小児科を中心に患者搬送を12件（要請14件）行った。

(16) 患者サービス

① 外来待ち時間調査を実施した。

(平成28年11月17日)

② 外来患者満足度調査を実施した。

(平成29年2月20日～24日)

③ 入院患者満足度調査を実施した。

(平成29年2月1日～24日)

④ 入院患者向けフロアコンサート（高木会館1階ロビー）

- ・平成28年5月10日（火）一般財団法人ディレクト・フォースコーラス同好会
- ・平成28年10月18日（火）渡邊加奈さん、成田美紀さん、幟建友里さん
- ・平成28年12月10日（土）教職員等による有志

⑤ 中央棟20Hならびに21H病棟へのコンシェルジュ配置。

(平成29年2月6日)

⑥ 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第47号（平成28年5月）第48号（平成28年7月）第49号（平成28年10月）第50号（平成29年1月）を発刊した。

⑦ 平成28年度「みんなの健康教室」を以下の日程で開催した。

※NHK放送博物館と共催（患者支援医療連携センター担当）

- ・第1回 日時：平成28年5月12日（木）（参加者合計：60名）
- ・第2回 日時：平成28年7月14日（木）（参加者合計：70名）
- ・第3回 日時：平成28年9月8日（木）（参加者合計：70名）
- ・第4回 日時：平成28年11月10日（木）（参加者合計：70名）
- ・第5回 日時：平成29年1月12日（木）（参加者合計：80名）
- ・第6回 日時：平成29年3月9日（木）（参加者合計：90名）

⑧ 不在者投票の実施

- ・平成28年6月12日の港区長選挙に対して、平成28年6月9日（木）に実施し、12件に対応した。
- ・平成28年7月10日の参議院選挙に対して、平成28年7月7日（木）に実施し、78件に対応した。
- ・平成28年7月31日の東京都知事選挙に対して、平成28年7月21日（木）に実施し、97件に対応した。

(17) 医療安全推進活動

① Team STEPPSの活用に向けた取り組み

Team STEPPSエッセンシャルコースを年間5回（年間参加者309名）開催し、概念の浸透を強化するとともに、Team STEPPSアドバンスコースを年間3回（年間参加

者74名)開催し、実践への連結強化をはかった。また、全病院を挙げた活動を目的としTeam STEPPS推進メンバーを主体とする取り組みを行い、年度末に全体発表会を行った。

② 安全文化の醸成を目指した研修会開催

職員対象のセーフティマネジメント基礎研修会を年間10回、4病院合同セーフティマネジメントシンポジウムを年間3回行い、医療安全に関する総合的な知識の普及をはかった。また、職種や経験別に、管理者のための医療安全・感染対策研修会、初期臨床研修医対象研修会、レジデント対象研修会、新規採用教職員・転入職員対象研修会、派遣・委託職員対象研修会などを行った。

③ セーフティマネージャーを主体とした活動

医療安全推進活動の主体をセーフティマネージャー(SM)と位置づけ、SMが主体となり、院内全部署を一年間かけてラウンドすることで安全な医療体制の構築に努めた。またSMを中心に転倒転落・薬剤・中心静脈挿入・その他のワーキンググループを作り、それぞれに特化した集中的な安全推進活動を行った。

④ 個別対応の強化を目指した活動

個々の医療事故イベント防止を目指して、それぞれのイベントに特化した以下の研修会を行った。診療情報を確実に共有するための緊急研修会を4回、転倒・転落予防のための講習会を3回、窒息予防講習会を1回開催するとともに、画像診断読影結果未読対策検討会を26診療科で実施した。その他、褥瘡や栄養管理について、それぞれの担当部署と共同したセミナーを開催した。また、安全な中心静脈カテーテル挿入を目指して認定制度に向けた取り組みを行い、認定者の養成に努めた。

⑤ 他病院との連携強化に向けた取り組み

慈恵医大附属4病院間では定期的な4病院セーフティマネジメント会議を開催し、問題点の共有を図るとともに、相互ラウンドによる相互チェックを行った。慈恵医大附属4病院以外では、都内の私大病院間の連携強化を目的とした都内私大病院安全連絡会議(COMPASS)を、また、全国私大病院間の連携強化を目的に福岡大学病院との相互ラウンドを行った。

⑥ 特定機能病院承認要件見直しの対応

医療法施行規則の一部改正により特定機能病院承認要件の見直しが行われたため、関連部署と協力し、未承認薬新規医薬品等審査委員会、高難度新規医療技術審査委員会、医療安全監査委員会などを設置し新規承認要件を満たすための対応を行った。

(18) がんに関わる医師に対する緩和ケア研修会(年度3回)

- ① 第12回緩和ケア研修会 平成28年10月1日(土)～2日(日) 於:大学管理棟4階研修室  
修了者:医師26名(本学11名、他学15名)
- ② 第13回緩和ケア研修会 平成27年12月10日(土)～11日(日) 於:大学管理棟4階研修室  
修了者:医師25名(本学14名、他学11名)
- ③ 第14回緩和ケア研修会 平成28年3月18日(土)～19日(日) 於:大学1号館6階講堂  
修了者:医師38名(本学21名、他学17名)

(19) 慈恵ICLSコース, 慈恵BLSコース

① 慈恵ICLSコースを5回開催した。

日 時:	平成28年5月28日(土)午後1時30分～午後6時	葛飾	参加23名
日 時:	平成28年7月2日(土)午後1時30分～午後6時	本院	参加24名
日 時:	平成28年9月17日(土)午後1時30分～午後6時	第三	参加24名
日 時:	平成28年11月26日(土)午後1時30分～午後6時	柏	参加41名
日 時:	平成29年2月18日(土)午後1時30分～午後6時	本院	参加24名

- ② ICLS指導者ワークショップ（インストラクター更新要件）を1回開催した。  
日 時：平成28年11月25日（金）午後6時～午後10時 柏 参加19名  
平成28年11月26日（土）午前8時～午後0時
- ③ 慈恵BLSコースを年間5回開催した。  
日 時：平成28年6月11日（土）午後3時～午後5時 参加9名  
日 時：平成28年7月9日（土）午後3時～午後5時 参加10名  
日 時：平成28年10月8日（土）午後3時～午後5時 参加20名  
日 時：平成28年12月10日（土）午後3時～午後5時 参加11名  
日 時：平成28年3月11日（土）午後3時～午後5時 参加13名
- ④ PBLsコース（小児心肺蘇生コース）を3回開催した。  
日 時：平成28年9月10日（土）午後1時～午後3時 参加16名  
日 時：平成28年10月22日（土）午後1時～午後3時 参加17名  
日 時：平成28年11月12日（土）午後1時～午後3時 参加18名
- ⑤ JAMPコース（緊急気道管理コース）を4回開催した。  
日 時：平成28年6月18日（土）午後1時～午後7時 参加17名  
日 時：平成28年8月13日（土）午後1時～午後7時 参加14名  
日 時：平成28年10月1日（土）午後1時～午後7時 参加14名  
日 時：平成28年12月3日（土）午後1時～午後7時 参加18名
- ⑥ 心肺蘇生に関する家族参加型市民公開講座を6回開催した。  
日 時：平成28年4月23日（土）午後1時～午後3時 参加5名  
日 時：平成28年6月4日（土）午後1時～午後3時 参加1名  
日 時：平成28年8月6日（土）午後1時～午後3時 参加51名  
日 時：平成28年10月8日（土）午後1時～午後3時 参加1名  
日 時：平成28年12月17日（土）午後1時～午後3時 参加4名  
日 時：平成29年2月4日（土）午後1時～午後3時 参加3名
- 20) 鏡視下手術トレーニングコース  
鏡視下手術を行う外科系医師の育成、認定を行う独自の制度である鏡視下手術トレーニングコース認定試験（STEP1計4回／受験者48名,STEP2計4回／受験者46名）及び技術判定審査（STEP3計2回／受験者27名※シルバー3名、ゴールド24名）を実施した。
- 21) 東京都赤十字血液センターによる献血が実施された。  
平成28年5月30日（月）献血者100名（申込者数118名）  
平成28年11月24日（木）献血者94名（申込者数130名）
- 22) 慈恵医大晴海トリトンクリニック  
慈恵医大晴海トリトンクリニック（所長：加地正伸）  
① 外来1日平均患者数80人（対前年比－2人）  
② 健診1日平均健診者数26人（対前年比－1人）
- 23) 保険診療に関する講習会  
【保険診療講習会】  
第1回 平成28年4月22日（金）基礎編「保険診療について」 大学1号館講堂  
第2回 平成28年5月10日（火）診療録書き方講習会 大学1号館講堂  
第3回 平成28年9月8日（木）内科系アドバンスコース講習会 中央講堂  
第4回 平成28年10月28日（金）外科系アドバンスコース講習会 大学1号館講堂  
第5回 平成28年12月13日（火）「保険診療の理解のために」 大学1号館講堂  
第6回 平成28年12月16日（金）「査定状況及び診療録監査実施報告」 大学1号館講堂  
第7回 平成29年2月6日（月）「指導の立場から」 大学1号館講堂